

中部運輸局交通政策部

令和6年12月9日14:00 発表

【連絡先】 中部運輸局 交通政策部

(地域公共交通部門) 交通企画課 江川、田中 TEL:052-952-8006

(グリーン経営部門) 環境・物流課 鈴木、水野 TEL:052-952-8007

令和6年交通関係優良団体大臣表彰について

地域公共交通に関する取り組み及び環境保全に関する取り組みに顕著な功績があった団体に対して、国土交通大臣による表彰をいたします。

表彰式は下記のとおり行われます。

記

- 日時 令和6年12月16日(月) 11時00分～
- 式場 国土交通省10階「共用大会議室」(東京都千代田区霞が関2-1-3)

【中部運輸局管内からの受賞者】

部門	受賞者名	功績概要
地域公共交通部門	白川・東白川地域公共交通活性化協議会	交通事業者や住民等と協力して新たな公共交通ネットワーク「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」を構築するとともに病院バスと公共交通を統合し経費節減しながら利便性を向上させるなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ
グリーン経営部門	静岡鉄道株式会社	全ての編成に効率的な省エネ型車両を導入し、地域で発電した再エネでの運行を実現するとともに、全国に先駆け、鉄道架線を活用して再エネの送配電を行う「レイルグリッド構想」を推進するなど、環境保全に関する活動に積極的に取り組んだ

なお、物流パートナーシップ部門の表彰については以下のとおり行われます。

- 日時 令和6年12月23日(月) 13時30分～
(グリーン物流パートナーシップ会議の場で表彰を行います)
- 式場 砂防会館 別館1F (東京都千代田区平河町2-7-4)

部門	受賞者名	功績概要
物流パートナーシップ部門	鈴与株式会社 他10社	関係者と連携し輸送モジュールの標準化による物流の効率化や検品レスによる作業時間の削減等を実現させ物流の生産性向上による持続可能な物流体系の構築および環境負荷の低減に多大な貢献をした

(添付資料)

- ・受賞者名簿
- ・各受賞者の取組概要

報道関係者の方の取材につきましては国土交通省プレスリリースをご参照ください。

1. 地域公共交通部門・グリーン経営部門 表彰式の取材について

- ・国土交通省 HP「報道発表資料」 <https://www.mlit.go.jp/report/press/index.html>
令和6年12月9日発表「令和6年交通関係優良団体表彰について」

2. 物流パートナーシップ部門に関する問い合わせ先について

- ・国土交通省 HP「報道発表資料」 <https://www.mlit.go.jp/report/press/index.html>
令和6年12月6日発表「広がってます、グリーン物流の輪 ～令和6年度物流
パートナーシップ優良事業者表彰受賞者決定～」

3. 物流パートナーシップ部門 表彰式の取材について

- ・グリーン物流パートナーシップ会議 HP <https://www.greenpartnership.jp/active>

以上

地域公共交通部門

ふりがな 受賞者名	功績概要	現住所
しょうないこうつうかぶしがいいしや 庄内交通株式会社 やまがたけんつるおかし 山形県鶴岡市	多様な分野で連携・協働し車両の小型化や運行の多頻度化及びきめ細かなルート設定により市内循環バスを再編するとともに熱心な利用促進を展開し利便性の向上や利用者の大幅な増加を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	山形県鶴岡市 山形県鶴岡市
いばらきけんひたちおおたし 茨城県常陸太田市	異なるサービス水準で重複運行し公的負担の増加が課題であったバスについて関係者と繰り返し協議を重ね路線バスに集約することにより運行の効率化や公的負担の抑制を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	茨城県常陸太田市
しらかわ・ひがししらかわちいきこうきょうこうつうかっせいかきょうぎかい 白川・東白川地域公共交通活性化協議会	交通事業者や住民等と協力して新たな公共交通ネットワーク「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」を構築するとともに病院バスと公共交通を統合し経費節減しながら利便性を向上させるなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	岐阜県加茂郡白川町
とっとりけんちづちょう 鳥取県智頭町	交通事業者・行政・住民自治組織の連携体制を構築し住民が自家用車を持ち込みドライバーとして運行する公共ライドシェア「のりりん」を導入することで交通空白地及び担い手不足を解消し利便性を向上させるなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	鳥取県八頭郡智頭町
とくていひえいりかつどうほうじんおーとつぷ 特定非営利活動法人OTTOP	様々な関係者と連携してGTFSデータを整備しオープンデータとして公開することで県内全ての交通事業者をカバーした経路検索を可能とするなど利便性向上に貢献するとともに本取組の持続可能性を高めるためNPO法人化するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ	沖縄県那覇市

グリーン経営部門

ふりがな 受賞者名	功績概要	現住所
しずおかてつどうかぶしきがいしゃ 静岡鉄道株式会社	全ての編成に高効率な省エネ型車両を導入し、地域で発電した再エネでの運行を実現するとともに、全国に先駆け、鉄道架線を活用して再エネの送配電を行う「レイルグリッド構想」を推進するなど、環境保全に関する活動に積極的に取り組んだ	静岡市葵区
しこくめいてつうんゆかぶしきがいしゃ 四国名鉄運輸株式会社	四国地方で初の事業用EVトラックを導入したほか関係各社と協議会を設立し船舶や鉄道へのモーダルシフトを推進するとともにエコドライブやグリーン経営認証取得等に長期に渡って取り組むなど環境保全の活動に積極的に取り組んだ	愛媛県松山市
ふくおかうんゆかぶしきがいしゃ 福岡運輸株式会社	デジタル技術を最大限に活用して物流データの共有化や集配プロセスの可視化を図り、積載効率の向上、ドライバー待機時間の減少につなげるなど、DXによる物流プロセスの最適化を通じて、環境保全の活動に積極的に取り組んだ	福岡県福岡市博多区

物流パートナーシップ部門

ふりがな 受賞者名	功績概要	現住所
すずよかぶしきがいしや 鈴与株式会社	関係者と連携し輸送モジュールの標準化による物流の効率化や検品レスによる作業時間の削減等を実現させ物流の生産性向上による持続可能な物流体系の構築および環境負荷の低減に多大な貢献をした	静岡市清水区
あーすせいやくかぶしきがいしや アース製薬株式会社	同上	東京都千代田区
おおつかそうこかぶしきがいしや 大塚倉庫株式会社	同上	大阪府大阪市港区
かとうさんぎょうかぶしきがいしや 加藤産業株式会社	同上	兵庫県西宮市
ぎふぶらすちつくこうぎょうかぶしきがいしや 岐阜プラスチック工業株式会社	同上	岐阜県岐阜市
かぶしきがいしやくばはらほんけぐるーぶほんしや 株式会社久原本家グループ本社	同上	福岡県糟屋郡久山町
かぶしきがいしやじえーおいるみるず 株式会社J-オイルミルズ	同上	東京都中央区

ふりがな 受賞者名	功績概要	現住所
たいようかがくかぶしがいいしゃ 太陽化学株式会社	関係者と連携し輸送モジュールの標準化による物流の効率化や検品レスによる作業時間の削減等を実現させ物流の生産性向上による持続可能な物流体系の構築および環境負荷の低減に多大な貢献をした	三重県四日市市
かぶしがいいしゃろじばるえくすふれす 株式会社ロジパルエクスプレス	同上	東京都葛飾区
かぶしがいいしゃみつかんろじてつく 株式会社Mizkan Logitec	同上	愛知県半田市
らいおんかぶしがいいしゃ ライオン株式会社	同上	東京都台東区

白川・東白川地域公共交通活性化協議会 (岐阜県白川町/東白川村)

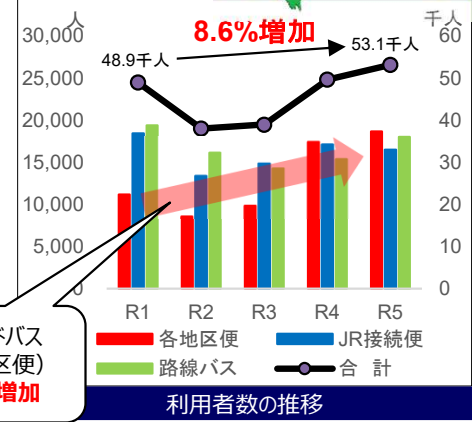


バス運転手不足で高校生の通学が不可能となる危機に対して、町村、交通事業者、住民等が協力して地域の**輸送資源を総動員**した**新たな公共交通ネットワーク「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」**を構築。さらに病院バスと公共交通を統合し、**経費節減しながら利便性を向上**。**共創と公共ライドシェアのモデル事例**。

(取組の概要)

1. 多様な主体の実質的参画

- 新たな公共交通の検討をする中、白川町内5地区ごとに**住民代表による地域部会を設立**し、実証運行を実施。運行形態・予約方法等の検討、運転手確保、住民との懇談会や体験乗車会等の啓発活動を、**地域部会が主体で取り組む**。
- デマンドバスの運行管理・運転業務は事業者者に委託。一部車両は**地域住民が運転手を担い、事業者の管理下に入ること**で**運行管理体制を強化**。また、**小中学校のスクールバスも一体で運行管理**し、輸送資源を有効活用。
- R3年2月に**白川病院が協議会委員**に加わり、**名古屋大学仲介**のもとで協議を重ね、**病院バスを公共交通と統合**。
- R3年8月に**社会福祉法人による福祉有償運送**も運行開始し、身体障害者等の移動手段を確保。
- スポーツ大会やイベントの参加者に公共交通を利用してもらうなど、**交通以外の部局とも連携**して利用促進を図る。



2. 創意工夫

- H30年10月より、新たな公共交通ネットワーク「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」に移行。
- 路線バスを**4路線から2路線に再編**。結果、**運行本数の増加、通学時間帯や土日祝の運行再開**につながる。
- **高校生の通学手段確保**のため、通学時間帯の違いに着目し、**小中学校のスクールバスをデマンドバス（JR接続便）**として活用。高校生が利用しやすいように、JR接続便には**スマホ予約を導入**。遅い時刻の帰宅便も増便し、利用者が増加。
- 路線バスのフィーダーともなる**デマンドバス（各地区便）を導入**。バス停まで行けない**高齢者等の交通手段確保**。
- **専用HPを開設してオペレーターも配置**。予約専用番号に電話すれば、**各交通モードを組み合わせた最適な移動を手配**でき、デマンドバスから鉄道・路線バスへのスムーズな接続等、**効率的な運行と利便性の向上**を実現。
- 病院バスとの統合にあたり、通院需要に配慮した路線バスダイヤの見直しやバス停位置の変更等により**通院の利便増進**。また、**重複路線が解消**し、病院バスの運転手が**他業務に従事可能**となった。通院患者に1日乗車券を無料配布（病院負担）することで、帰宅時に**買物等が可能**に。



3. 自立性・継続性

- **「みんなで創り・守り・育てる白川町地域公共交通条例」**を定め、関係者が協力して**地域公共交通を守っていく**ことを明言。
- **白川町総合計画**で「おでかけしらかわ・ひがししらかわ」の持続、まちづくりとの連携を**明記**。土日の部活動への通学手段不足が中学校統合の障壁になったが、デマンドバス（各地区便）の運行見直しにより確保する等、**地域の政策とも連携**。
- 各交通モードの合計利用者数はR1～R5で **8.6%増加**（その間、人口は9.9%減）
- 運行経費の一部と通院患者に配布する1日乗車券の料金を**病院が負担**することにより、**町の運行経費が節減**。
- 懇談会での意見交換や、地域の要望を踏まえたバス停へのベンチの設置等、**地域部会の取組も継続**。
- 利用実績等をもとに協議会で改善策を議論し、デマンドバスを利用者の多い目的地へ接続する等、見直しを**毎年実施**。



白川・東白川地域公共交通活性化協議会 (岐阜県白川町/東白川村)

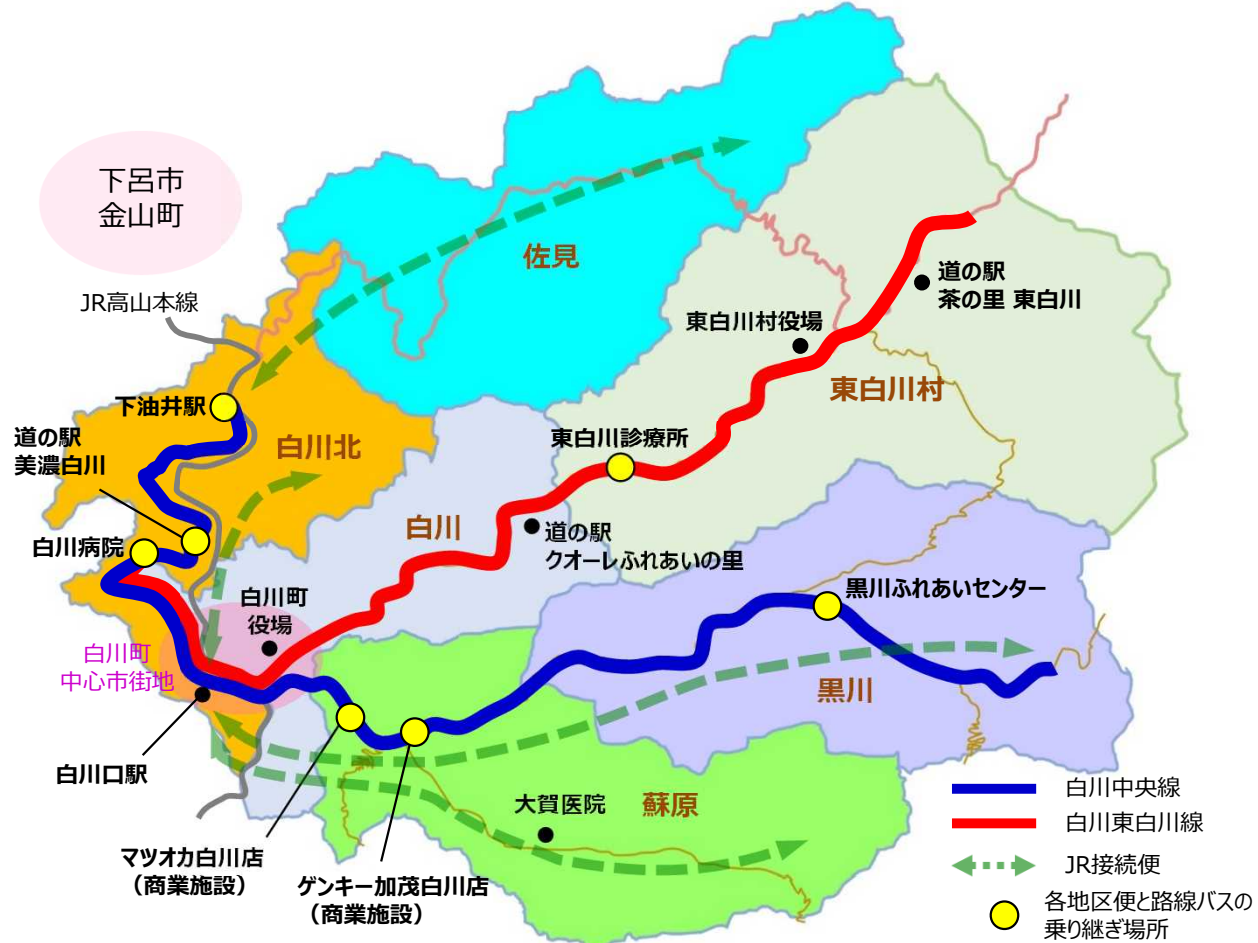
参考：路線図・位置図

再編前



JR 高山本線	路線バス (定期運行)	タクシー	その他のサービス
白川口駅 下油井駅	白川口駅起点の4路線	1社1台1人	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス (9台) 社会福祉法人による移送サービス 病院送迎バス
	平日2~5往復 土日祝は全便運休 運行時間 6~18時台 ※蘇原・佐見地区はH28以降通学利用不可能	2020年5月廃業	

連携なし



再編後

JR 高山本線	路線バス (定期運行)	予約制<デマンド>バス (JR接続便)	予約制<デマンド>バス (各地区便)	福祉有償運送 (白川町)	外出支援事業 (東白川村)
白川口駅 下油井駅	2路線 ・白川中央線 ・白川東白川線	地区と駅を直通運行 (白川北・佐見・黒川・蘇原の4地区)	5地区で運行 (白川・白川北・佐見・黒川・蘇原)	社会福祉法人による運行	村営の外出支援バス (無償) を運行
	平日7~9往復 土日祝4往復半 ※土日祝の運行は白川東白川線のみ 運行時間 6~20時台	駅着：6時台 駅発：17~19時台 ・佐見地区は下油井駅行き ・それ以外は白川口駅行き	・各ゾーン内をドアtoドアで運行 ・乗り継ぎ場所で路線バスと接続 ・隣接する下呂市金山町の4施設 (病院・商業施設) も運行範囲	身体障害者等を対象に町内および近隣市町の医療機関、福祉施設、公共施設、商業施設、金融機関等へ個別輸送	高齢者等を対象に村内の通院・買物・福祉施設送迎、村外の中核病院・透析送迎 ※外出支援バスに替えて、誰でも利用できる無料の村営バス運行開始予定 (令和6年10月~) 路線バスに接続
		一部の車両は小中学校のスクールバス車両も活用。スクールバスの運行とデマンドバスの運行を同一事業者が一体的に管理。			
路線バスとデマンドバス (JR接続便・各地区便) の共通1日乗車券を導入					

静岡鉄道株式会社（静岡県静岡市）

主な評価ポイント

- 中小私鉄の中でも積極的に省エネに取り組み、全ての編成に高効率な省エネ型車両を導入。
- 中部地方で初めて、地域で発電した再エネ電気を使用した運行を実現し、地域循環経済に貢献。
さらに、全国に先駆けて、地域における脱炭素や防災レジリエンスの向上を目指し、地域で発電した再エネ電気を鉄道架線を活用して送電、沿線施設へ配電する、「清水静岡レイルグリッド構想」を推進。

全ての編成へ省エネ型車両導入、地域で発電した再エネ電気で運行

- 2015年度から順次導入した新型車両「A3000形」を全12編成へ導入し、旧型車両と比較し50%以上の消費電力を削減。
- 静岡県内の大井川・天竜川・富士川・安倍川の各水系にある水力発電所の再エネ由来の環境価値を活用した静岡県産のCO₂排出量ゼロ電気「静岡Greenでんき」を使用。地域で発電した再エネ電気使用による運行を実現し、地域循環経済へ貢献。
※ 中部地方の鉄道会社で初



「清水静岡レイルグリッド構想」推進

- 地域の再エネ導入の拡大や、沿線の防災レジリエンス等の価値の向上を目指した「清水静岡レイルグリッド構想」を推進。
(鉄道沿線で発電された再生可能エネルギーを、自社が所有する鉄道架線を活用して送電し、沿線施設へ配電)
← 鉄道施設を活用したマイクログリッドの構築は、全国的にも例がない取組。



事業者

アース製薬、大塚倉庫、加藤産業、
岐阜プラスチック工業、久原本家グループ本社、J-オイル
ミルズ、太陽化学、ロジパルエクスプレス、Mizkan
Logitec、ライオン、鈴与

事業概要

長距離輸送手段の安定確保とドライバーの労働環境改善を図るため、T11パレットサイズなど輸送モジュールの標準化により、トレーラを活用した複数荷主による混載ラウンド輸送を実現。また、DC(在庫型)化及びASN(事前出荷通知)を活用した検品レス納品等による食品メーカー共同配送の効率化も実施。

「モノが運べなくなる時代」を防ぎ、持続可能な物流を構築することで社会インフラを維持する

解決すべき物流課題

- ・ 人手不足解消や労働生産性の向上
- ・ 魅力ある職場環境整備
- ・ カーボンニュートラル対応



実現すべきソリューション

物流負荷
の軽減

物流GX
の推進

物流標準化
の推進

多様な人材
の活用・育成

<事業概要>

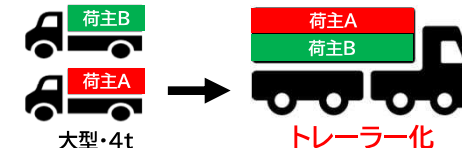
1. 輸送モジュール化と混載輸送

1 輸送モジュール化



バラ積み、多様なPLサイズ → PLサイズ統一 (1.1m)、ボックスPL使用

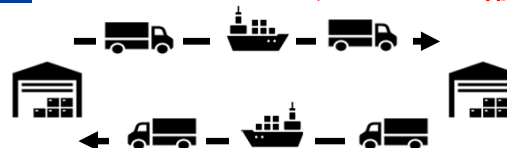
2 複数荷主混載/台数削減



大型・4t

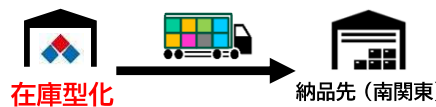
トレーラー化

3 モーダルシフト/スイッチ輸送



2. 在庫型と事前出荷通知を利用した食品共同配送輸送

1 食品共同配送



2 事前出荷通知



特徴

- 輸送モジュール標準化：T11パレットサイズへの標準化により複数荷主の混載ラウンド輸送実現
- 輸送条件調整：出荷日、出荷時間帯、出荷量（平準化）など、各種輸送条件を調整
- TC(通過型)からDC(在庫型)へ転換。さらに納品先への輸送を共同配送化
- ASN(事前出荷通知)を活用し検品レス納品を実現

効果

- CO₂削減量 運行A： 31.2t-CO₂/年 (19.0%) 削減
- CO₂削減量 運行B： 46.3t-CO₂/年 (23.2%) 削減
- CO₂削減量 運行C： 538.1t-CO₂/年 (37.8%) 削減
- 削減台数：運行A：39台 運行B：171台 運行C：1392台